

第63回全国肢体不自由教育研究協議会
第1分科会 話題提供

日々の授業づくりを出発点とした 教育課程改善の試み

～「カリキュラム・マネジメント真駒内Version」の構築に向けた取組～

平成29年11月16日(木)

北海道真駒内養護学校 教諭 小倉 靖範

研究背景と目的

研究背景

教育課程に関わる課題

- 学部間の教育課程の接続(連続性と独自性)
- 授業と教育課程改善のつながりの希薄さ

学校経営上の課題

- 協働する組織の基盤をつくる(チーム真駒内)

社会的背景

- 社会変化への対応
- 新学習指導要領

課題の解決に向けて…

「カリキュラム・マネジメント真駒内Version」の構築



研究目的(3ヵ年)

目的 ①

- 次期学習指導要領を見据え、社会とのつながりを大切にした小・中・高一貫性のある教育課程を実現する。

目的 ②

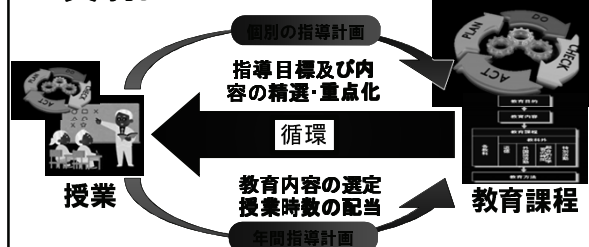
- 本校としての「カリキュラム・マネジメント」の仕組みを構築する。

研究のゴールは…

全教員が、授業・指導の状況と説明できる

「カリキュラム・マネジメント 真駒内Version」の検討

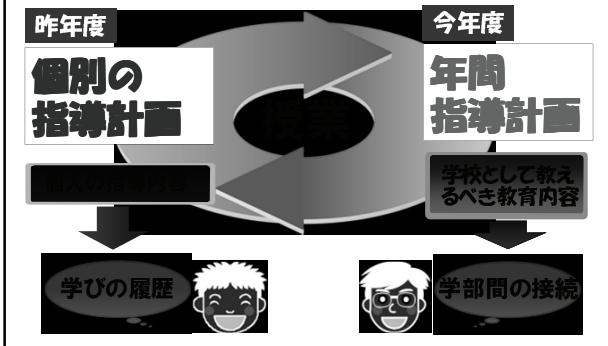
「カリキュラム・マネジメント」 真駒内VERSIONとは？(試案)



個々の指導計画と年間指導計画をつまめる

小・中・高の年間指導計画をつまめる

「個別の指導計画」と「年間指導計画」 をシステムとして機能させる



校内研究の取組

校内研究がスタート！

【研究主題】

- 1年次：目標設定の根拠の明確化
- 2年次：年間指導計画の見直し
- 3年次：新学習指導要領への移行

社会とのつながりを大切にした
教育課程を目指して

～日々の授業と教育課程の改善を
つなげるための仕組みをつくる～

研究計画

平成28年度

- 「課題関連図」の作成を通して、個別の指導計画における目標の妥当性を高める
- 研究授業の指導案・様式の工夫

平成29年度

- 「協働による授業設計」の取組
- ① 自立活動の視点からの「課題関連図」の作成
- ②「年間指導計画」の見直し ③校内授業研究会

その1 H28年度の取組

「課題関連図」の作成から
見えてきたこと

実態把握から分析へ

「課題関連図」作成の手続き

STEP 1 事例対象児の選定（学年ブロック・学部ごとに）

履修する教育課程等を基に特徴的な児童生徒を抽出

STEP 2 「課題関連図」作成のプロセスを通じた共通理解

学部によって
視点が異なる？

担任を中心に
カテゴリー化

中心となる課題
つまずきの背景

付箋の整理

かかわる人から
の事前情報収集

関連を複数の
教師で検討

